

## 保健体育科学習指導案

授業者 菅根 大幹

1. 日 時 令和7年2月8日(土) 3～6時限目(10:40～15:10)
2. 場 所 大阪教育大学附属天王寺中学校 体育館メインアリーナ(1F)
3. 学 年 第2学年・男女共修 クラス生徒数(A組35名、B組36名、C組35名、D組36名)
4. 単 元 A体づくり運動:モルック
5. 単元目標
  - ① 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、目的に適した運動を習得し、それらを組み合わせて行うことができるようにする。また、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。(知識・運動)
  - ② 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。(思考・判断・表現)
  - ③ 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、話し合いに参加しようとする、健康・安全に気を配ることができるようにする。(学びに向かう力・人間性等)
6. 指導にあたって

- ① 教材観

中学校保健体育科の学習指導要領では、「生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、場面に応じた多様な関わり方を選択し、実践する力」の育成が重視されている。こうした背景の中、年齢や性別、体力に関係なく楽しめるスポーツとしてモルックを教材とした。モルックは、フィンランド発祥のスローイングスポーツであり、木製の棒(モルック)を投げて、番号が書かれた木製のピン(スキットル)を倒し、点数を競うゲームである。ルールが簡単で安全性が高いことから、子どもから高齢者まで幅広い世代で楽しむことができるスポーツである。

本単元では、仲間とともに楽しみながら体を動かし、モルックの特性や成り立ち、用具の名称や基本的なルールなどを理解するとともに、基本的なモルックの投げ方を習得できるようにする。その際、自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすることが大切である。また、学習に積極的に取り組み、作戦などについての話し合いに参加することや一人ひとりの違いに応じたプレイを認めること、健康や安全に気を配るようにすることが大切である。

- ② 生徒観

中学2年生の生徒たちは、前向きで積極的に授業に取り組む姿勢がある。友人との関わりを重視し、協力し合いながら活動を進めることに意欲的である。また、新しい運動への興味や好奇心が強く、新しい種目やルールにも柔軟に対応する力を持っている。このため、モルックのような新しい競技に対しても、積極的にルールを理解し、戦略的に取り組む姿が期待できる。

### ③ 指導観

本單元では、「モルック」を取り入れ、楽しみながら体を動かし、仲間と協力することの大切さを学ぶことを目的とする。モルックは、投てき動作を用いた競技でありながら、勝敗だけでなく戦略性やコミュニケーションが求められるため、生徒同士の協力や戦略立てを通じて、運動への主体的な関わり方を促す指導を行う。本單元を通じて、生徒が運動を楽しみながら体を動かし、仲間と協力することの意義を学ぶことで体育に対する前向きな姿勢を育むことを目標にして指導にあたる。

## 7. 評価基準

知識及び運動	思考、判断、表現	主体的に学習に取り組む態度
○知識 ・心と体をほぐし、体を動かす楽しさについて理解している。 ○運動 ・用具を操作する動きを育む運動を通して、体の基本的な動きを身に付ける。	・体力の程度や性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための運動を見つけ、仲間に伝えている。 ・学習した安全上の留意点を、学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に気を配ったりしている。

8. 本時の目標 仲間と協力しながら戦略を立て、安全にモルックを楽しむことができるようにする。

9. 本時の評価 自己やチームで改善点を見つけ、課題解決に向けて取り組むことができる【思判表】

10. 本時の展開

	学習活動・主な発問（○）予想される生徒の反応（△）	評価（◇）と支援（・）
導入 5分	1. 整列・出欠確認・あいさつ 体育委員が点呼後、出欠の確認 2. 準備体操 3. 本時の流れとめあての確認をする	・出欠の確認の際に、体調が悪い生徒がいないか確認する
めあて 仲間とコミュニケーションをとって、モルックを楽しもう		

<p>展開</p> <p>40分</p>	<p><b>4. モルックの基本ルールの説明</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モルック、スキットルの用具について</li> <li>・スキットルの倒れ方をパターン別に得点の数え方</li> <li>・倒れたスキットルをプレーヤーに向けて立てる方法</li> <li>・公式ルールでは、連続して3回0点の場合失格</li> <li>・ゲーム終了：50点 (50点以上になった場合25点に戻る)</li> <li>・2ゲーム以降のゲーム順は累計得点の低いチームから</li> <li>・勝敗は、すべてのゲームの合計得点で決める</li> </ul> <p><b>5. ゲームの説明</b></p> <p>事故防止上の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モルックの投げ方</li> <li>・チーム分け</li> </ul> <p><b>6. ゲーム①</b></p> <p>ルールを確認しながら試合形式でゲームを実施</p> <p><b>7. 作戦タイム</b></p> <p>ゲーム①を振り返りチームごとに改善点・戦略を考える</p> <p><b>8. ゲーム②</b></p> <p>作戦をもとにゲームを進める</p>	<p>①たくさん倒れたスキットルのうち、地面に接した本数だけが得点となり、他のスキットルやモルックの上に重なったものは得点としない。</p> <p>②得点となるスキットルが1本の場合、書かれた番号が得点となる。</p> <p>③得点となるモルックが2本以上の場合、倒れた本数が得点となる。</p> <p>安全のため常に下手投げであること徹底させる、投球エリア外での待機、順番の管理など</p> <p>1チーム：2～3名程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回して、安全管理ができているか、適宜声かけを行う。</li> <li>・巡回してチームごとの話し合いを支援する</li> </ul>
<p>まとめ</p> <p>5分</p>	<p><b>9. 振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような戦略を立てることができたか。</li> <li>・安全に配慮したプレイができたか。</li> </ul> <p><b>10. あいさつ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の連絡を行い、挨拶を行う。</li> </ul>	<p>(◇)【思判表】(観察)</p> <p>A：戦略を考えて、実行することができる</p> <p>B：戦略を考えることができる</p> <p>C：B以下</p>